

〈令和7年度 インターンシップ参加学生へ質問〉

○自己紹介をお願いします。

長崎大学環境科学部3年の中岡芽唯です。将来は公務員として働きたいと考えています。

○インターンシップのきっかけはなんですか？

大学卒業後は公務員を志望しており、市役所での勤務も将来の選択肢の1つと考えています。そのため、市役所ではどのような業務が行われているのかを知りたいと思い、インターンシップに応募しました。また、観光や農業でにぎわう一方で人口減少などの課題を抱える雲仙市が、どのような取り組みを行っているのか、そして職員の方々がどのような考えや姿勢をもって業務にあたられているのかに関心を持ち、雲仙市役所で学びたいと考えました。

○インターンシップの内容はどのようなものでしたか？

窓口業務や実際の取り組みが行われている現場の視察をはじめ、さまざまな業務や市内各地での体験をさせていただきました。

1日目	午前	オリエンテーション
	午後	雲仙市内視察
2日目	午前	愛野図書室での業務補助
	午後	愛野図書室での業務補助
3日目	午前	小浜総合支所での業務補助
	午後	小浜総合支所での業務補助
4日目	午前	農林課での業務補助
	午後	農林課での業務補助
5日目	午前	インターンシップのホームページ作成
	午後	採用試験サイトブログ作成

○どのような体験をしましたか？

毎日異なる業務を体験しました。図書室ではカウンター業務を実際に行い、総合支所では職員の方々の窓口対応の様子を見学したり、災害現場や災害時の対応について教えていただいたりしました。農林課では農地を有効活用した現地の視察を行いました。部署によって業務内容が大きく異なることを知るとともに、市民の方と直接かかわる機会もあり、貴重な学びとなりました。

○インターンシップを通して学んだことはなんですか？

インターンシップを通して、雲仙市の地域課題や行政・図書・農業の現場に触れることで、多角的な学びを得ることができました。人口減少や高齢化といった課題がある一方で閉校となった校舎や農地の有効活用、子育て支援など地域の課題解決に向けた具体的な取り組みが行われていることを知り、地域資源を工夫して活かすことの重要性を学びました。また、図書室や支所での業務体験を通して、利用者に寄り添った対応やコミュニケーション力・判断力の大切さを実感しました。

市役所の業務を体験させていただいたことで、将来どのような職に就き、地域に貢献していきたいかを改めて考える良い機会となりました。